

平成 30 年度勤労者支援事業部第 1 回研修会(報告)

主 催 (公社) 熊本県栄養士会 勤労者支援事業部

日 時 平成 30 年 6 月 16 日 (土) 10:00~15:30

会 場 名 熊本県立大学 講義棟 1号館第1講義室 (参加数 61名)

◇講義1 『第3期特定保健指導見直しのポイント』

講師: 菊池養生園保健組合 菊池広域保健センター
管理栄養士 田中 裕子氏

第3期特定保健指導についての変更点のポイントについて説明がありました。平成20年度から始まった特定保健指導はその効果が実証され、今後さらなる実施率向上を目指し、実績評価時期の短縮や初回面接の分割実施など運用の弾力化が図られています。実施する形が多様化したことで、特定保健指導が実施しやすい環境が整ってきているようです。今後特定保健指導の実施機関も増えることが予想され、この分野での管理栄養士のさらなる活躍と成果が期待されていると感じました。

◇講義2 『動脈硬化性疾患予防のための基礎知識

～脂質異常症と糖尿病の話題を中心に～』

講師: 熊本県立大学 環境共生学部食健康科学科
教授 下田 誠也 先生

今回の講義では、動脈硬化性疾患のリスク因子としての糖尿病と脂質異常症の最近の話題を中心にお話いただきました。

脂質代謝については、私たちが疑問に思っていることについて、“なぜ？”という切り口からエビデンスに基づく多岐にわたる情報を提供いただきました。私も脂質代謝は難しいと感じるひとりですが、今回の講義中、すんなりと頭に入り理解しているような感覚がありました。おそらく、先生が聞き手にとって楽しく学べる工夫をされているのだと感じました。自分自身も含めて、健康づくりについて人に伝える仕事をしている方も多いためプレゼンテーションの技術についても大変参考になりました。

また、糖尿病については、特に高齢者糖尿病の話題を中心に最新の情報のご紹介がありました。高齢化はますます進んでおり、高齢者糖尿病患者に対してどのような点に留意すべきなのかわかりやすい内容でした。

アンケートの結果も「とてもわかりやすく興味深い内容だった」「教えていただいたエビデンスを今後の栄養指導に役立てたいと思う」など、多くの方が満足されて好評でした。

◇実践事例報告『実施率UP・継続率UPのために取り組んでいる工夫と課題』

- | | |
|-----------------------|--------------|
| ①日赤熊本健康管理センター | 管理栄養士 嶋田 けい氏 |
| ②済生会熊本病院予防医療センター | 管理栄養士 森川 清美氏 |
| ③菊池養生園保健組合 菊池広域保健センター | 管理栄養士 中村 允俊氏 |

それぞれの施設で、特定保健指導の受診率向上や継続率アップへの取り組みについてそれぞれの施設から発表がありました

- ・検査結果が出る前に、予想される対象者をピックアップし先に保健指導の説明をする
- ・イベント等を利用して利用勧奨を行う
- ・施設内のフィットネスジムを利用して保健指導の利用者を増やす
- ・最終評価に血液検査を取り入れる
- ・特定保健指導を勧奨する医師への協力依頼
- ・健保担当者との連携

など、各施設の工夫が具体的に示され、特定保健指導を行っている施設にとって実施率、継続率アップのためのヒントになったのではないかと思います。

また今後、さらに実施率、継続率の向上のためには、特定保健指導を行う医師、保健師だけでなく、検査技師、事務職員、看護師などの多くの他職種、保険者などの関係団体などとの連携をどう行っていくかが重要であると感じました。

◇ワールドカフェ方式による意見交換会

『実施率UP・継続率UPのためにこれからできること

～実施率UP・継続率UPのために取り組んでいる工夫と課題～』

ファシリテーター：日赤健康管理センター 管理栄養士 生山 由利子氏

提示されたテーマについて、多様かつ発展性のある意見を共有するために、ワールドカフェ方式の意見交換会を展開しました。「支援対象者に電話で不機嫌な態度をとられてしまう」、「初回支援は健診から数日経つと健康づくりのモチベーションが下がっていて困難」などの課題が出るなかで、「支援スタッフの垣根を越えたチームで情報共有し、対象者の性格や価値観をとらえ、それに合わせた支援を実施する」「野菜詰め合わせプレゼントなどのインセンティブを活用し、モチベーションアップやマンネリ化を解決する」などの工夫が出ました。

先の講義と実践事例報告から得たことを含めた意見交換を行い、参加者一人ひとりにとって、本日得た内容を明日からの仕事に活かしていく弾みとなったように感じられました。



【意見交換会の様子】